

めぐみイエス・キリスト教会

2019年6月23日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第461号」



2019年標題聖句

第Ⅱ ペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年6月23日 第四主日礼拝
第一礼拝 午前9時50分 第二礼拝 午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん
◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌416 「聖霊来たれり」 p. 668

【交読文】 No.37 詩篇第119篇 p. 909

【賛美Ⅱ】 新聖歌222 「罪の深みに」 p. 336

【使徒信条】 【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.5 「聖霊の風」

【聖書朗読】 マルコの福音書2章1節～12節

【祈 禱】

【説 教】 《あなたの罪は赦された》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165 「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

◎本日の聖書箇所【マルコの福音書2章1節～12節】(新約p.61)

2:1 数日たって、イエスがカペナウムにまた来られると、家におられることが知れ渡った。

2:2 それで多くの人が集まったため、戸口のところまですきまもないほどになった。この人たちに、イエスはみことばを話しておられた。

2:3 そのとき、ひとりの中風の人が四人の人にかつがれて、みもとに連れて来られた。

2:4 群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、その人々はイエスのおられるあたりの屋根をはがし、穴をあけて、中風の人を寝かせ

たままその床をつり降ろした。

2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦されました。」と言われた。

2:6 ところが、その場に律法学者が数人すわっていて、心の中で理屈を言った。

2:7 「この人は、なぜ、あんなことを言うのか。神をけがしているのだ。神おひとりのほか、だれが罪を赦すことができよう。」 12

2:8 彼らが心の中でこのように理屈を言っているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて、こう言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんな理屈を言っているのか。」

2:9 中風の人に、『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。

2:10 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言ってから、中風の人に、

2:11 「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。

2:12 すると彼は起き上がり、すぐに床を取り上げて、みなの方を見ている前を出て行った。それでみなの方々がすっかり驚いて、「こういうことは、かつて見たことがない。」と言って神をあがめた。

●ポイント1. 取税人レビ(マタイ)の召命

※マタイの福音書9章9節「カペナウムの取税所にて」 (新約p.14上段)

9:9 イエスは、そこを去って道を通りながら、取税所にすわっているマタイという人をご覧になって、「私について来なさい。」と言われた。すると彼は立ち上がって、イエスに従った。

●ポイント2. 「あなたの罪は赦された」とは、誰に語られているのか？

※ルカの福音書6章37節「主イエス様のご命令から」 (新約p.110下段)

6:37「さばいてはいけません。そうすれば、自分もさばかれません。人を罪に定めてはいけません。そうすれば、自分も罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、自分も赦されます。」

◎先週のメッセージの概要【賜物…、その前に】

《今日は、一年ぶりに、アメリカから一時帰国されました斉藤順子宣教師が、メッセージと宣教報告をして下さいました。『ロングビーチ・ジャパニーズ・ミニストリー』も、新たな展開を迎えたとのことでした。日本には、今二組の宣教師の家族が赴任しているとのことでした。斉藤順子先生のミニストリーによって救われた学生たちの魂が、日本においてもケアされ、また信仰生活を続けて行くことが出来るようにと、大阪に、そして長野の地に遣わされています。

またゴスペルクワイヤーや留学生の同窓会も協力して、アメリカで救われた若いクリスチャンたちを導いて行くと言う新たな段階に入ったとのことでした。

主イエス様に示されてアメリカに渡って11年、しかも奇跡的に永住権も与えられた順子先生の働きは、さらに前進し続けると思われます。

さて、この11年間にわたって、順子先生を通して多くの留学生の魂が救われて来ました。しかし今年、深く関わっていた若い女性の二人が、彼女らのホストファミリーのクリスチャンの群れの集会に行ってしまう、順子先生とコンタクトが取れなくなるという事態が起こったのです。その時、順子先生の心の中に、ポツカリと大きな穴が空いてしまい、ガクっとしている自分に気づかれたそうです。その後、何をしても、心の中にガクっとした気持ちが残り、主イエス様に祈り求めた時に、このみ言葉が示されたとのことでした。

タラントとは賜物のことです。私たちには多くの賜物が、主によって与えられています。その賜物を用いて主の為にご用をする前に、主に愛されている、また失敗したとしても成功したとしても、主は喜んで下さる。その大いなる愛の中に生かされていることを、しっかりと心に刻み、神様は本当に良いお方であることを信じ信頼して、共に歩いて行くことの大切さを教えられたとのことでした。また神様は、様々な方法や奇跡を通して、順子先生に「初心にかえる」ことを教えられたのです。順子先生は7月16日にアメリカに戻られます。》

◎お知らせ

- 1.今日の午前礼拝は、10分早く始まり、10分早く終わります。鈴木牧師は、あさま台町内会館で行なわれる「ラジオ体操懇親会11時～」に出席します。
- 2.次回の「聖書の学びと祈り会」は、6月26日(水)に行ないます。
- 3.7月24日(水)の祈り会は、鈴木牧師が神学校リトリート(断食祈祷集会2泊3日)に参加しますのでお休みです。